

2013年度（平成25年度）苫小牧市温室効果ガス排出量

平成28年12月
苫小牧市環境衛生部環境保全課

1 温室効果ガス排出量について

市内温室効果ガス排出量（CO₂換算）は2,885千トンとなり、基準年比16.0%の増加となりました。

部門別では、産業部門で基準年比0.7%の減少、業務部門で69.3%の増加、家庭部門で54.1%の増加、廃棄物部門で6.9%の減少となりました。

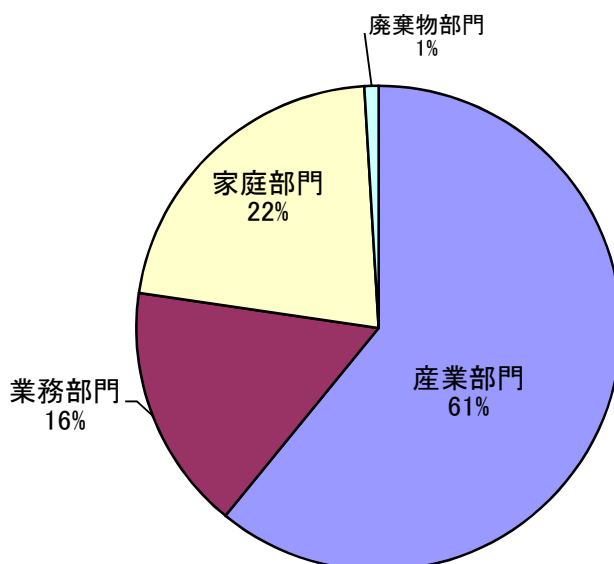
増加の要因は、業務系建物床面積の増加、核家族化による世帯数の増加、自動車保有台数の増加などが考えられます。

(単位：千t - CO₂)

	1990年度 (基準値)	2011年度	2012年度	2013年度	2013年度	
					基準年比	前年比
合計	2,486	2,589	2,939	2,885	16.0%	-1.8%
産業部門	1,770	1,552	1,766	1,757	-0.7%	-0.5%
業務部門	280	400	460	474	69.3%	3.0%
家庭部門	407	598	678	627	54.1%	-7.5%
廃棄物部門	29	39	34	27	-6.9%	-20.6%

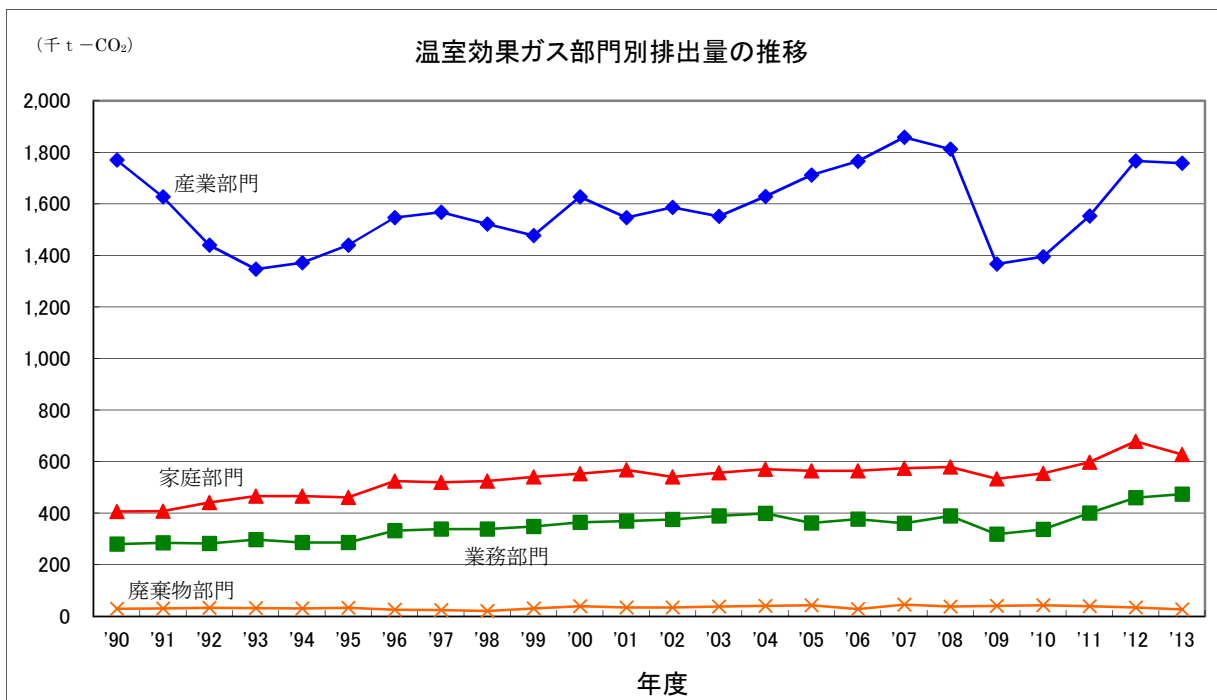
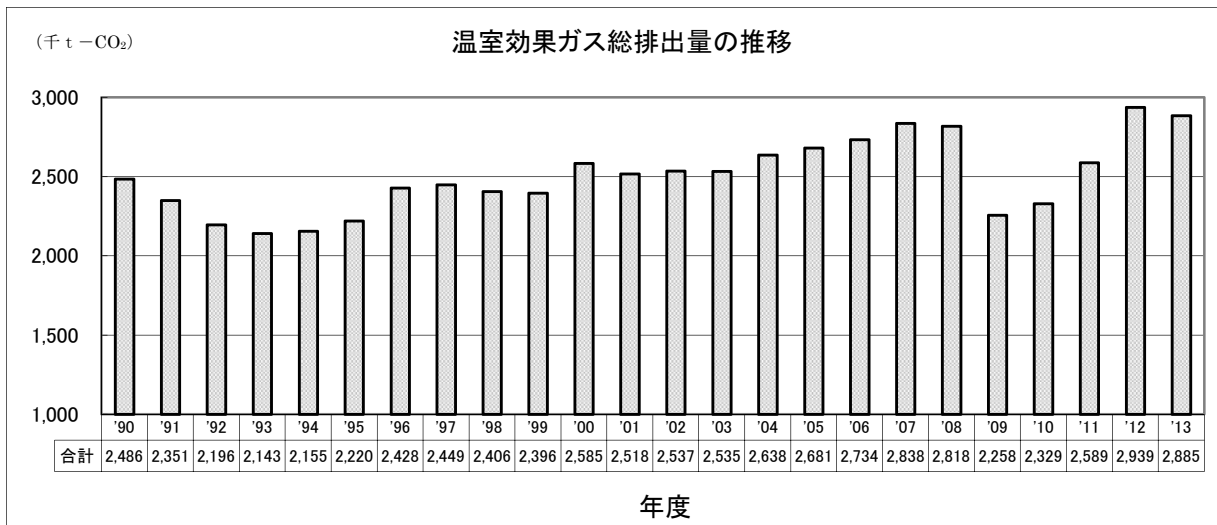
※ 排出量は、各種統計データを基に算定していますが、公開時期の関係で、一部のデータは推計値等を使用しています。今後、各種統計データの修正、算定方法の見直し等があった場合は、排出量は変更されることがあります。

部門別の割合（2013年度）



2 経年変化について

1990年度から2013年度までの経年変化は次のグラフのとおりです。



3 部門別目標の進捗状況

	目標(2017年度)	2013年度
産業部門	総排出量 -15.0%	-0.7%
業務部門	床面積1 m ² 当たり排出量 -12.0%	8.6%
家庭部門	1世帯当たり排出量 -7.0%	8.9%
廃棄物部門	1世帯当たり排出量 -15.0%	-34.4%